R7年「匠の技伝承」プロジェクト　伝達講習会

報告者　大山　耕平

令和7年9月21日、宮崎県柔道整復師会館にてR7年「匠の技伝承」プロジェクト伝達講習会が開催され、会員10名、準会員6名、合計16名が参加されました。

今年度のテーマは「肩甲上腕関節脱臼」、講師は中村拓未会員、奈須康哲会員により行われました。

　最初に日本柔道整復師会会長、長尾会長の挨拶があり講習が始まりました。前半の部は中村拓未会員による超音波観察装置（エコー）の講義で、プローブの当て方や見方、肩の観察におけるポイントなど大変参考になる内容を講義していただき、実技ではSSB株式会社様から3台、事務所にある1台の合計4台のエコーを使用でき、参加者全員が有意義にエコーを体験することが出来ました。

　後半の部は奈須康哲会員による整復固定の講義が行われました。整復操作についての講義をしてもらい、厚紙を採型して副子固定を作成してヒポクラテス法およびゼロポジションを実演してもらった後に、整復操作から包帯固定までしっかり実技を行うことが出来ました。固定の際の臨床でのワンポイントなど参考になるポイントをレクチャーしてもらいました。また実技中は経験豊富な先生方の整復、固定の話なども聞くことができ日頃の診療に役立てる内容が多くありました。来年度も伝達講習会は開催されますので多くの先生方のご参加をお待ちいたしております。



